

地域防災訓練の実施について

1 目的

地域防災の本旨である「自助・共助」の精神に立ち返り、これまでに積み上げてきた地域防災の取組みを総点検するとともに、本年 6 月に公表された静岡県第 4 次地震被害想定を踏まえ、地域で想定される被害を再確認し、従来にも増して超広域災害にも耐えうる地域防災体制の再構築を行い、「減災」の実現を図る。

地域、自主防等が主体となり、地域の実情等に則した訓練内容を自らで決定し実施する。

2 実施日

平成 25 年 12 月 1 日（日） 午前 9 時から正午まで

3 参加機関

自主防災組織、消防団、地域内企業（事業所）、県、市 他

4 訓練想定

駿河トラフから南海トラフを震源域とする大規模地震が突然発生し、県内各地で震度 7 ～ 6 弱を観測し、建物倒壊や地盤の液状化、火災等が発生。間もなく沿岸部には大津波が襲来するなど、県下全域に著しい被害が発生したことを想定する。

なお、訓練を実施する上では、家屋の倒壊・流失、山・崖崩れ、道路の損壊、橋梁の落下や電気、ガス、水道、電話、交通機関等の被害及び多数の負傷者の発生等、地域の特性を考慮した具体的な被害状況を想定するものとする。

5 設定時刻

日 時	内 容	備 考
11 月 30 日	午後 7 時 30 分	訓練事前広報 同報無線・戸別受信機・防災ラジオ
12 月 1 日	午前 7 時 05 分	訓練実施広報 同報無線・戸別受信機・防災ラジオ
	午前 9 時 00 分	地震発生 サイレン自主防災会訓練開始 緊急速報メール配信（県）
	午前 9 時 05 分	津波警報発令 サイレン 緊急速報メール配信（市）
	午前 9 時 45 分	火災発生 サイレン
	午前 10 時 00 分	応急給水開始 同報無線・戸別受信機・防災ラジオ
	正午（予定）	訓練終了 同報無線・戸別受信機・防災ラジオ

訓練概要については、別紙資料を参照。

6 重点項目

- (1) 自らの命を守るためにとるべき行動の確認（自助）
- (2) 地域における協力体制の確認（共助）
- (3) 超広域災害を想定した地域防災体制の再確認

地域防災訓練の概要について

1 牧之原市本部運営訓練

- ・情報伝達のルートの検証
本部・支部・各班・地区担当における情報伝達のルートの確認。
- ・各班における業務内容（事務分掌）の確認
付与情報により、各班がそれぞれの役割の確認・検証を行う。
- ・本部・支部内の運営、連携の確認
本部・支部の役割を再確認、各班との連携体制の確認。

2 牧之原市地震被災建築物応急危険度判定訓練

応急危険度判定士の判定業務に係る技術の保持及び向上を目的として、解体予定の市営住宅（木造戸建て）を使用して、判定訓練を実施する。

- ・会場...市営住宅波津団地内（波津 852 番地 1）
- ・参加予定者...民間判定士 18 名、静岡県職員 1 名、市建築班 9 名

3 避難所運営訓練

住民自らが避難所運営ゲーム（HUG）を通じて避難所運営を模擬体験し、避難所運営に対する理解を深め、被災者受け入れ体制の強化を図るため、菅山区において実施する。

今回は実際の学校体育館を使用し、住民自らが運営本部員や避難者役となり参加する実動訓練として行う。

4 応急給水訓練

自主防災会において応急給水場所の確認、給水活動の流れを確認するための訓練。

参加地区：東 5 丁目、11 丁目、後原、道上、西福田、大沢、波津第 4、中里、東萩間、地頭方、豊岡

5 応急救護訓練

消防署及び静岡県看護協会志太榛原地区支部による応急手当・救護処置を実施する。

参加地区：11 丁目、後原、時ヶ谷、根松、西福田

6 水防訓練

牧之原市建友会による消防団を対象とした水防訓練。相良サンビーチ（樋尻川左岸付近）において、積み土のう工 2 種類、しがら土留め工の作成方法を学ぶ。

7 地域における特色のある防災訓練

細江小学校、地頭方小学校において、通学途中に地震が発生したことを想定して避難訓練を実施する。（訓練当日、県中部危機管理局が細江小学校を視察）